

新低収縮パテ

レジェンド・ワン

Legend. I

柔軟性 & 追従性

無収縮

フレンド可能

中間パテ

超軽量

サクサク研磨



5つのラインアップすべて混合可



専用硬化剤C 補助硬化剤B



◎POINTS◎

- ①もちろん**無収縮** ※1  歪みをしっかり抑える
- ②硬化後塗膜に**柔軟性 & 追従性**付与
- ③**サクサク研げる** → 「ザクザク」ではなく「サクサク」…軽～い音と感触
「低収縮パテは硬くて研げない」は、もう過去の話
- ④**主剤を『ブレンド』可能** → 自分好みの粘度に調整が可能
- ⑤乾燥性は格段にアップ → さらに乾燥性アップも可能 ※2
- ⑥耐熱性良好 → 強制乾燥も安心して行える

【注】 ※1:規定の容量・用法を守り、かつ気温・天気・湿度等がシーズンに合致した条件であれば、ほぼ無収縮となります

【注】 ※2:使用方法の項の「もっと硬化乾燥を速くするには…」をご参照下さい

【LINE UP】

主 剤	可使時間	研磨可能時間	粘 度〔p〕	比 重	容 量
Legend. I 鍍金パテ	4～8分	25～50分	約6000	1.2～1.3	2.7kg
Legend. I 中間パテ	4～8分	25～50分	約3500	1.2～1.3	2.7kg
Legend. I ポリパテ	4～8分	25～50分	約2500	1.2～1.3	2.7kg
Legend. I カーボン	4～8分	25～50分	約5000	1.1～1.2	2.8kg
Legend. I アルミカーボン	4～8分	25～50分	約4500	1.1～1.2	2.8kg

【備考】: 「Legend. I シルバーカーボン」は、「Legend. I アルミカーボン」と中味は同一です。

【条件】: 可使時間および研磨可能時間は、気温20℃において、主剤A(タイプN;標準型)に対して、硬化剤Cを2%加えた場合の自然乾燥におけるおおよその時間です。また、可使時間および研磨可能時間、粘度は、気温・パテ温・天気・湿度・日光により、様々に変化します。

【参考】: 「Legend. I」シリーズには、大缶(2.7kg・2.8kg)の他に**900g入りの小缶**もあります。

【小缶…900g入り】の項をご覧ください。

【使用硬化剤】

硬 化 剤 名	種 類	容 量	硬化剤の色	容器の種類
専用硬化剤 C 80g	CHPO	80g	イエロー・ブルー ブラウン・クリア	チューブ
補助硬化剤 B 40g	BPO	40g	ホワイト	ワンタッチボトル

硬化剤**C**:メイン硬化剤(主剤とセット品) 硬化剤**B**:補助硬化剤(別売り品)

通常は**イエロー**がセットされます

(その他の色をご希望の場合はその都度申し付け下さい)



【特 長】

- ①密着性：超高張力鋼板・高張力鋼板・防錆鋼板・アルミ鋼板・一般の鋼板・その他に非常に強力に密着し、かつエッジ部も非常に強い。
- ②耐熱性：150～180℃で約30分の耐熱性があり、耐熱温度が高いため、安心して上塗り塗装後の焼付が可能（膜厚等の諸条件により耐熱温度は変わります）。
- ③乾燥性：乾燥性が格段にアップし、表面タックが残らない。さらに、強制乾燥（50～60℃で5～10分）を行うことにより、研磨可能時間は大幅に短縮が可能。
- ④耐湿性：耐プリスター性に優れている。
- ⑤収縮性：無収縮と言って良い程の優れた低収縮性のため、硬化後に鋼板が歪むことなくしっかりと面出し可能で、ソリや歪み・縮みの発生を抑える。
- ⑥柔軟性：硬化後一定の時間は、パテに柔軟性・追随性があり、パテが歪みを吸収する。
- ⑦研磨性：低収縮パテ特有の表面タックが無いのでペーパーの絡みが無く、かつペーパーが表面をすべることなくしっかりと食いつくので、サクサク研げる。半乾きで表面を削るようなザクザクではなく、完全に乾いた状態でしっかりペーパーがかかったサクサクという小気味良い研磨感で楽に研磨が可能。
- ⑧タイプ：S（夏用）・N（標準＝春秋用）・W（冬用）の3シーズンタイプ
- ⑨その他：《主剤混合システム》➡️ブレンドOK

シリーズ5製品すべての主剤を各々、混ぜ合わせて使用することが可能。仕上げ用で極上の美肌の『Legend. I ポリパテ』と厚付け万能の『Legend. I 鋳金パテ』を混合したり、『Legend. I ポリパテ』と厚付け薄付け自由自在の『Legend. I 中間パテ』を混合することにより自分の好みの・自分に合った粘度のパテを作り出すという画期的な使い方が可能。（今すぐ使う必要な量だけを缶から取り出して混合して下さい）

例えば、真冬の寒い時期は、どうしてもパテが固くなります。このようなときに『Legend. I ポリパテ』を加えてみるとお好みの粘度に調節できます。また、季節が変わってしまい手持ちのパテが乾きにくくなったり、また速く乾きすぎる場合など、S（夏用）・N（標準＝春秋用）・W（冬用）の3シーズンのタイプをブレンドすることにより乾燥時間を調節することができます（季節違いの混合では、僅かですが収縮が生じることがあります）。このシステムにより、従来廃棄していた季節外れのパテなど捨てずに無駄なく最後までお使いいただくことが可能です。

【個別の特長】

主 剤	研磨性	厚付け	簡 単 な 特 徴
Legend. I 鋳金パテ	良好	◎	思い切った厚付けが可能で研磨も良好
Legend. I 中間パテ	良好		厚付け薄付け自由自在で研磨も良好
Legend. I ポリパテ	良好		極上美肌の仕上げタイプで研磨も良好
Legend. I カーボン	良好	◎	カーボン繊維入りで厚付け可能
Legend. I アルミカーボン	良好	◎	アルミ＋カーボン入りでヘラ伸びも良好

「Legend. I 鋳金パテ」は#120ペーパーから、「Legend. I 中間パテ」は#180～#240から、「Legend. I ポリパテ」は#240から、「Legend. I カーボン」・「Legend. I アルミカーボン」は#80～#120から研磨可能です（目安ですので、ペーパーはご自由にお選び下さい）

【使用方法】

- ①補修箇所の旧塗膜および下地の汚れ、サビ、油分、水分等を完全に取り除いて下さい。
- ②研磨ダストなどのその他不純物をエアブロー、シリコンオフ等で完全に取り除いて下さい。
- ③缶容器よりヘラ等で主剤Aを必要な量だけ取り出し、主剤Aに対して専用硬化剤Cを1.5%~3%(通常2%)の割合で加え、ヘラで均一にすばやく混合して下さい。(主剤40gに硬化剤1gでおおよそ2%とお考え下さい)
 - ・主剤の容器の中に硬化剤を直接加えないこと
 - ・使用する量以外は少量でも絶対に主剤と硬化剤を接触させないこと
 - ・缶容器より主剤を取り出すヘラは、パテ付けするヘラと別のヘラにすること
- ④ヘラ等で補修箇所にヘラ付けして下さい。最初にしっかりとシゴキ付けし、その後空気が混入しないように注意しながら必要な量だけすばやく必要な厚さにヘラ付けして下さい。
- ⑤ゲル化後は発熱するので、ヤケド等しないように保護手袋等を着用して充分注意して下さい。

※ もっと硬化乾燥を速くするには…

- 通常：主剤に対して、硬化剤C:2%添加
- PLAN①：主剤に対して、硬化剤C:2%+硬化剤B:1% ➡ お奨めプラン
- PLAN②：主剤に対して、硬化剤C:1%+硬化剤B:1%

条件 Legend. I 中間パテ:N、気温20℃

	硬 化 剤	可使時間	研磨可能時間	特 記 事 項
通常	C:2%	4~8分	20~50分	
PLAN①	C:2%+B:1%	4~8分	15~35分	エッジが強くなる。乾燥⇒速
PLAN②	C:1%+B:1%	4~10分	20~45分	エッジが強くなる。可使時間⇒長

【貯蔵保管・輸送上の注意】

- ① 貯蔵保管は、直射日光の当たらない冷暗所で、かつ温度変化の少ない場所に保管下さい。
- ② 移送時は、直射日光の当たらない方法で、かつ低温でなるべく速やかに移送して下さい。
- ③ 缶のフタは完全に密閉し、ヘラでパテを取り出す際に缶の縁で拭わないようにして下さい(缶の縁にパテが付着していると完全密閉の妨げになり、またブツの原因となります)。
- ④ できれば、缶からパテを取り出す専用のヘラを用意して、硬化剤と混合してパテ付けするヘラと分けて使用して下さい(ヘラを分けることによりヘラに付着した僅かな硬化剤の混入を防ぎます)。
- ⑤ 缶の中の胴部(横部分)についたパテをついたままにしないで中に毎回落としておいて下さい(缶の胴部に付着したパテを落とすことにより空気との接触面積を少なくし揮発や誤反応を防止する)。
- ⑥ 缶のフタの上に硬化剤のチューブを置かないようにして下さい(気化した硬化剤と反応することがあります)。
- ⑦ パテの使用中でも缶は完全にフタをし、常に冷暗所に置いて下さい。
- ⑧ 缶の保管の際、裏返しにして保管するのは絶対やめて下さい(フタについた硬化剤と反応したり缶の上部の僅かなサビや鉄粉と反応して不完全硬化を発生し始める可能性があります)。
- ⑨ 使用前および使用後すぐ保管前に、缶の底の方からヘラでしっかり混ぜ合わせて、濃度を均一にして常に同じ粘度で使用できるようにして下さい。

【悪い例】



【小缶…900g入り】

- ・シリーズ全5製品すべて**900g入り**
- ・専用硬化剤**C**はチューブタイプで**30g入りブルー**のみ（イエロー・ブラウン・クリアはありません）
- ・中味は全く大缶と同じですので、補助硬化剤**B**の使用も可能です



【使用上の注意】 ※良い塗膜品質を得るために必ずお守り下さい

- ・硬化剤は、必ず専用硬化剤をお使い下さい。
- ・硬化剤は、使用する直前に必ず充分にもみほぐしてからお使い下さい。
- ・気温の低い時や湿度の高い時は、鉄板を30～50℃に加熱してからお使い下さい。
- ・パテ付けしてすぐに、鉄板を30～50℃の温度で5～10分強制乾燥することで、乾燥時間および研磨開始時間を大幅に短縮することが可能です。
- ・使用後は、主剤・硬化剤とも完全に密閉して、日光の当たらない20℃以下の冷暗所に保管して下さい。また、輸送の際も保管時と同様の環境で行って下さい。
- ・主剤の缶の縁や中側にパテをつけないで下さい。また、缶の中に硬化剤やパテの研磨粉や鉄粉がほんの僅かでも混入すると、缶の中でパテが硬化を始めますので、ほんの一滴・一片の混入にもご注意ください。
- ・輸入車の一部には、硬化乾燥までにたいへん時間のかかる車種や十分な密着力が得られない車種がありますので、その場合は一度少量でテストして十分な密着力が得られることを確認した上でご使用下さい。
- ・主剤・硬化剤とも有効期限は製造日より3ヶ月間ですので、必ず3ヶ月以内に使い切ってください。ただし、使用や貯蔵の状態によっては、3ヶ月もたない場合もあります。3ヶ月というのは有効期限であり、製品の保証期間ではありませんので、お早めにお使い切りいただくことをお勧めします。

【危険有害性情報】

- ・可燃性固体 ・飲込むと有害のおそれ
- ・軽度の皮膚刺激 ・強い眼刺激
- ・遺伝性疾患のおそれの疑い
- ・発がんのおそれの疑い
- ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- ・中枢神経系の障害
- ・長期または反復暴露による臓器の障害

【廃棄】

- ・内容物や容器の廃棄は、関係法規に従って、各都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する

危険物 【主剤】 第2類 引火性固体 ポリエステルパテ

【硬化剤】 第5類第2種 自己反応性物質 有機過酸化含有物

※取扱いや使用の際には、必ず製品安全データシートに従ってください

労働安全衛生法による表示：ステレン

【注意事項】

第2種有機溶剤等

- ・火気のある所では、絶対に使用しない
- ・屋外または換気の良い場所でのみ使用する
- ・防爆型の装置・機器・工具を使用する
- ・取扱中は皮膚に触れないようにし、保護眼鏡・保護手袋・保護マスク（防毒マスク又は送気マスク等）・保護衣を着用する
- ・取扱時には飲食や喫煙をしない
- ・取扱後は充分に手を洗う
- ・こぼれた場合は、ウエスで拭き取り密閉可能な不燃性容器か水を張った容器に回収する

【応急処置】

- ・眼に入った場合は、直ちに清浄な水で充分洗い、眼科医の手当を受ける
- ・飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぎ、医師の手当を受ける
- ・皮膚等に付着した場合は、流水で充分に洗い流し、医師の手当を受ける
- ・ガス・蒸気等を吸い込んで気分が悪い場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の手当を受ける

【貯蔵保管】

- ・容器を完全に密閉し、直射日光の当たらない涼しく換気の良い定められた場所に、施設して保管する



中部化研工業株式会社

〒509-0234 岐阜県可児市久々利128-47 TEL:(0574)64-2511(代) FAX:(0574)64-3328